

日本機械学会 関西支部 ステップアップ・セミナー 2017  
**高付加価値商品開発とものづくり**

**協 賛** 日本ガスタービン学会、可視化情報学会、計測自動制御学会関西支部、精密工学会関西支部、システム制御情報学会、日本金  
 属学会関西支部、日本計算工学会、日本材料学会関西支部、日本流体力学学会、日本塑性加工学会関西支部、日本マリンエンジ  
 ニアリング学会、化学工学会関西支部、日本伝熱学会、日本航空宇宙学会関西支部、溶接学会関西支部、日本船舶海洋工学会  
 関西支部、日本冷凍空調学会、日本燃焼学会、日本鉄鋼協会関西支部、自動車技術会関西支部、ターボ機械協会、日本バーナ  
 研究会、滋賀経済産業協会、京都工業会、奈良経済産業協会、兵庫工業会、大阪科学技術センター、日本技術士会近畿本部

**日 時** 2017年11月30日(木) 9:00~17:00

**会 場** 大阪科学技術センター 8階 中ホール  
 大阪市西区靱本町1-8-4/電話 06-6443-5324(代)/地下鉄四つ橋線「本町」駅下車、28号出口北へ400m 朝公園北側

**趣 旨** 企業経営のグローバル化によってICTやバリューチェーンが世界中に張り巡らされた昨今では、世の中の変化のスピードが年々早ま  
 り、企業が開発した新商品が市場で利益を生む期間は従来よりもどんどん短くなっています。日本の製造業は、これまで消費者のニー  
 ズをつかんだ新商品や、普及価格の大量製品を作り続けることで売り上げを増大させ、事業の拡大をはかってきました。更に近年では  
 市場のグローバル化に合わせて、製造拠点や部品調達および開発機能の海外現地化によって、為替や貿易関税等の国境リスクを回避し、  
 政情や経済情勢の影響を受けにくい企業経営が構築されています。  
 他方、世界的な労働人件費の高騰や、プレジデントやトランプ政権誕生等々の国家的な政情不安に起因する不確実性の高いビジネスリ  
 スクの高まりにより、将来に亘って事業の成長を見通す事が難しくなる中、企業は従来製品を上回る高付加価値(=差別化)を新商品  
 に求めますが、ものが売れない時代の新しい価値づくりには各社とも苦労しています。  
 本セミナーでは以上のような観点から、高付加価値商品開発やイノベーション実現の事例を紹介します。技術マネジャー、中堅・若手  
 技術者などの方々はもとより、学生や教員の皆様にも有益な内容となっていますので、多数ご参加くださいますようお願いいたします。

**キーワード** イノベーション、差別化、高付加価値、ものづくり

**題目・内容・講師**

時 間	題 目	内 容	講 師
9:00~ 9:10	開会挨拶		日本機械学会関西支部 支部長 徳 永 節 男
9:10~ 10:20	寿司の大衆化に 貢献する寿司ロ ボットの本源的 価値	1981年に寿司ロボットの初号機を開発、市場投入してから36年が経過し、それ まで非日常食であったお寿司は、寿司ロボットを活用して今や何時でも誰でも 気軽に食することができる日常食として定着した。米飯という非常にアナログ な素材を加工する技術とユーザーの事業活動を支える寿司ロボットの多面的な 価値を解説する。	鈴茂器工(株) 代表取締役会長  小根田 育 治
10:30~ 11:40	うるさら7開発 秘話	主力のルームエアコンの生産が2008年に中国へ委託する事となり、ダイキン工 業滋賀製作所の生産量は大きく減少し、国内生産の消滅危機やサプライヤーの 苦難を目の当たりにする事に。その最中、従業員が一念発起して「うるさら7」 プロジェクトを開始、サプライヤーとの協業や、重力で動く「からくりロボッ ト」、ものづくり日本大賞を受賞したコスト競争力のある量産体制により、滋賀 製作所は世界マザー工場として完全復活を果たしました。その軌跡と「うるさ ら7」の誕生秘話についてお話しします。	ダイキン工業(株) 空調生産本部 副本部長  原 田 俊 光
12:40~ 13:50	差別化戦略の本 質を考える	企業の基本戦略として差別化戦略はすっかりお馴染みの言葉です。ところで、 差別化戦略といいますが、なぜ差別化するのでしょか。誰に対して差別化す るのでしょか。どこが差別化のポイントになるのでしょか。それはなぜな のでしょか。こうした問題について、一般的な経営学での考え方を説明した うえで、現実の事例や、技術や社会の動向などを踏まえながら、これからの差別 化戦略の方向性について、参加者の方々と一緒に考えたいと思います。	神戸大学 大学院経営学研究科 教授  原 拓 志
14:00~ 15:10	基礎研究から新 規ビジネスを立 ち上げる	1979年から80年代にはエズラ・ヴォーゲル著の"Japan as number one: Lessons for America"がベストセラーになる程栄華を極めた日本の産業競争力も、1990 年前後に境に下降の一途をたどっている。日本の科学技術の優秀であることに それほど変わりはないが、この間、社会を変えるほどのインパクトを産業界に は生んでいないのはなぜだろうか。80年代に一研究者として新たな概念を提唱 し、それを基盤に社内にベンチャービジネスとして立ち上げ、現在もその経営 と研究戦略構築に関わる一人として、自らの経験から得たものを語りたい。	江崎グリコ(株) 兼 グリコ栄養食品(株) 取締役常務執行役員 兼 健康科学 研究所長  栗 木 隆
15:20~ 16:30	価値創造の仕組み ~イノベーション を創出する仕 組みと人財~	センシング、通信、クラウド、AI等IoT技術がどんどん進化していく中、技術力 と共に、これらを活用した新しい価値を創造する力が重要になってきます。 技術の進化を活用し、どんな社会を創り、どんな価値を提供していくのか、まさ に創造力が試される時代。事例をベースに価値創造の仕組み、価値を創造する 人材について共に考察します。	オムロン(株) 技術・知財本部 SDTM推進室長  竹 林 一
16:30~ 16:50	全体質疑		司会 関西支部第5専門部会 部会長 滝 谷 俊 夫
16:50~ 17:00	閉会挨拶		日本機械学会関西支部 副支部長 田 中 正 夫

**定 員** 100名 **申込締切** 2017年11月22日(水) (締切後でも定員に余裕があれば受け付けますので、お問合せください。)

-----さりとり線-----

**日本機械学会 関西支部 ステップアップ・セミナー 2017 聴講申込書(FAX可)**

2017年 月 日

下記の該当箇所を、○でお囲みます。		〒 □□□□-□□□□		通信送付先を必ずご記入願 います。
聴 講 料	会 員	無 料	通 信 送 付 先 所 属	
	協賛学協会個人会員	5,000円		
送 金 方 法	銀行振込	氏 名	氏 名	
	現金書留			氏 名
今 後 の 行 事 案 内	<input type="checkbox"/> 今後の案内不要	電 話	電 話	
	<input type="checkbox"/> 電子メールによる案内のみ希望			F A X
メールアドレス		メールアドレス		

申込先 一般社団法人日本機械学会 関西支部 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル内  
 TEL: 06-6443-2073 FAX: 06-6443-6049 E-mail: info@kansaijsme.or.jp ホームページ http://www.kansaijsme.or.jp/

その他 (1) 申込受付後、聴講券をお送りしますので必ずご持参ください。  
 (2) 受講をキャンセルされる場合は2日前までにご連絡願います。2日前までにご連絡のない場合は聴講料をお支払いいただきます。  
 ※お申込みの際にご提供いただいた個人情報は、当該行事の運営業務のために利用するほか、当支部が主催する講習会・セミナーのご案内のために利用させていただきます。  
 本セミナーでは記録用に写真を撮影し、ニュースレターなどに掲載させていただくことがございますのでご了承ください。